

事業所名

放課後等デイサービス きららプラス

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2025年

2月

22日

法人(事業所)理念	私たちはすべての人に寄り添い、特性や個性を理解尊重し、人々に信頼され、地域社会とともに発展し、地域に根ざしたなくてはならない法人を目指しています。さらに社員が自信と喜びに満ち、想像すること・挑戦することを誇りとし、人々の豊かな未来への架け橋となるような活動に取り組む法人を目指しています。					
支援方針	子どもたち一人一人の障がい特性や環境、年齢や学年、その他ライフステージの変化など、子どもたち周辺の様々なことを考量・配慮し、各分野の専門家などがその時々に応じた最適な支援をコーディネートする。					
営業時間	月～土 (祝日含む)	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 安心して過ごせるように、その日のスケジュール表や、職員、帰りの車などを視覚支援で分かりやすく伝えていきます。 持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整理を自立的に行えるよう支援します。 勉強する部屋や遊ぶ部屋、心を落ち着かせる子部屋などを分けることや、視覚支援やパーティションを用意して、お子さんが自分のことに集中しやすい環境を作ります。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びやサーキット・ボール遊び・片足立ちなどの遊びを通して、ボディイメージや体幹、手指の巧緻性などの向上を目指します。 着座時の姿勢保持ができるように、作業療法士によるサポートを受けながら訓練していきます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 色・形・数量などの概念を知育玩具やボードゲームなどを用いて遊びながら習得していきます。 活動のスタートのタイミングでタイムタイマーで知らせ、時間を意識して自ら行動することを支援していきます。 集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得できるように支援していきます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面にあった言葉遣い、子どもたち同士のやりとりなかでのコミュニケーション能力の獲得を支援していきます。 自分の気持ちの表減や、『手伝って』などの要求など普段の生活の中から伝えられるように、視覚支援などを用いて自分の気持ちを表現できるように支援していきます。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動で、順番を守る・ルールを守る・他者との協力・負けを受け止めるなどの社会性や、人との関わり方や接し方を身につけていきます。 集団の中でリーダーなど役割をもって活動してもらうことや、集団の遊びに入っていく練習などを行っていきます。 				
家族支援	療育内容のフィードバックや連絡帳を通して保護者の皆様とのコミュニケーションを図っています。また、年に2回の面談以外にも電話による日々の困りごとへの相談、進路などの相談等も随時行っています。希望される方にはペアレントトレーニングなども行っています。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた目標・支援計画の設定・実施をしています。また、外出の機会を増やし、社会集団への参加・適応する力を養っています。			
地域支援・地域連携	学校、相談支援事業所との情報連携をしています。学校での懇談や、お子さんの支援会議に参加しています。	職員の質の向上	毎年内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新たな支援方法を学んだりしています。毎日のスタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有したり、職員の外部研修への参加を奨励し、職員全体に情報を共有して職員の質の向上を図っています。			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた活動(お花見・夏まつり・水遊び・ハロウィン・クリスマス・初詣・正月遊び・節分など) 避難訓練(地震津波・火災 年に2回) 調理活動・おでかけ・買いもの・外食レクなど(お子さんたちのリクエストも受け付けています) 					